



ひろしま郷土資料館だより

NO. 102

企画展「沸き立つ！昭和39年ー57年前の広島ー」

令和3年(2021)5月15日(土)～7月11日(日)

ミニ展示「沸き立つ！昭和39年」パネル展

令和3年(2021)7月22日(木・祝)～9月5日(日) → 8月19日(木)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5/16(日)～6/20(日)、8/20(金)～9/12(日)は臨時休館

オリンピック
聖火リレーの
広島をキリトル



昭和39年(一九六四)9月20日
広島県庁の聖火台をバックに記念撮影
鍵本由美子氏提供

第18回オリンピック東京大会の広島県内の聖火リレーは、昭和39年9月20日・21日に行われました。20日のゴール地点・広島県庁では、聖火歓迎式典が行われ、永野巖雄県知事が最終走者からトーチを受け取り、聖火台に点火しました。写真は、式典後に撮影されたもので、母娘の後ろに聖火が灯されています。

世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年(2020)延期を余儀なくされた第32回オリンピック東京大会は、紆余曲折の末、本年7月23日から開会され、無事に会期を終了しました。

「東京2020(オリンピック東京大会)応援プログラム」認証の本展も、本来は広島県内聖火リレー時期に合わせ、昨年5月から開催の予定でしたが、やむなく聖火リレーと共に延期となりました。そして本年5月、ようやく展示開催に漕ぎ着けたのも束の間、再び臨時休館を挟む事態となり、90日間開催の予定が、結果的に44日間となってしまい、短期間の貴重な展示公開となりました。

期間中、前期の企画展「沸き立つ！昭和39年ー57年前の広島ー」では1階展示ホール・2階企画展示室にて、写真・映像、オリンピック関連資料、生活道具からオリンピック当時の出来事や暮らし、街の風景を紹介しました。続く後期のミニ展示「沸き立つ！昭和39年」パネル展では、1階小展示室に場所を移し、写真中心の展示構成としました。それでは次頁にて展示内容を紹介します。

目次

- | | | | |
|-------|----------------------------------|-----|---|
| P 1-2 | 企画展「沸き立つ！昭和39年」 | P 6 | クイズラリー
「クイズでたんけん！ in 郷土資料館」
収蔵資料の虫害対策 |
| P 3 | 企画展「夏休み おばけの博物館」 | P 7 | 博物館実習・インターンシップ・活動報告 |
| P 4 | 【パネル展】「エスキーテニス70年のあゆみ」
被爆建物案内 | P 8 | 祝 大人入館券 200,000 番
令和3年度 後期展示紹介 |
| p 5 | 【パネル展】海図150年の歴史
ー瀬戸内海の手図ー | | |

◆聖火が広島にやってきた！◆

アジア初のオリンピック東京大会は、昭和39年(1964)10月10日から24日まで開催されました。国民が一致団結し、「美しい国土でオリンピックを成功させよう」をスローガンに、世界に向けて戦後復興、経済発展そして日本文化をアピールする絶好の契機となりました。

広島県内では9月20日(日)・21日(月)の二日間、聖火リレーが行われました。山陽路を駆け抜け山口県から運ばれた聖火は大竹市から広島市へ、さらに現在の安芸高田市を通過し、三次市から9月16日に開通したばかりの広島一島根(国道54号)の赤名トンネルまでを、16～20歳の若人ランナーが重さ約1kgのトーチをかかげ、81区間約130kmをつなぎました。

リレーコースは、最短距離で各県庁所在地へ向かうコース設定になっていましたが、広島では特別に回り道コースが1区間設定されました。平和記念公園原爆死没者慰霊碑前での中継点です。聖火リレー50日前の8月1日、慰霊碑前方に「平和の灯^{ともしび}」が完成しました。そこへ到着した聖火がシンクロして二つの「平和の火」が燃え盛り、神秘的な情景が演出されたのです。



聖火、原爆死没者慰霊碑前に到着
明田弘司氏撮影 広島市公文書館提供

◆高度経済成長の光と影◆

昭和25年からの朝鮮戦争(1950～1953)は日本に特需景気をもたらし、約20年にわたる好景気がやってきました。昭和35年(1960)7月に発足した池田勇人(現竹原市出身)内閣が所得倍増計画で掲げたGDP(国民総生産)成長率は、オリンピックイヤーの頃には、13.9%に達し、賃金水準も上昇、人々は貧しさから脱却し、豊かさを感じる時代になりました。

広島市では昭和27年(1952)、「広島平和記念都市建設計画」のもと、国からの特別補助金、支援により、平和記念都市として復興への道のりを歩み始めました。昭和30年以降、都市の中核をなす平和記念公園や中央公園の整備、幅100mの平和大通りを始めとする幹線道路の整備・拡幅工事、太田川改修工事、仁保沖埋立てによる工場用地建設、土地区画整理による広島駅前、基町地区再開発事業などを経て、徐々に現在の政令指定都市・広島市の姿が形成されていきました。

しかし息せき切って経済大国を目指す一方、その代償は大きく全国で生活環境の悪化が目立ち始めました。昭和39年に人口が50万人に達した広島市でも人口増加に伴い、不法建築住宅の密集や増えるゴミ、し尿処理の遅れなどの問題、さらに不衛生な環境から伝染病の日本脳炎やコレラ、ポリオが流行しました。また瀬戸内海沿岸部には工場群が出現し、大気汚染や水質汚濁などの公害が発生し、海も空も汚れていきました。敗戦から19年でオリンピックを成功させた日本ですが、復興に向けた理想の街づくりは、まだまだ容易なものではありませんでした。



展示室の様子(昭和39年の広島の出来事を写真で紹介)

今回、令和3年(2021)5月17日(月)の広島

市での聖火リレーが、一般客立入禁止の平和記念公園でトーチを重ね合わせるのみの「トーチキス」セレモニーであったのに対し、観衆が見守る 57年前の活気に満ちた聖火リレー模様は、来館者には相当新鮮だったようで、うらやましさを感しながら、当時の映像・写真を見入る姿が印象的でした。(山縣紀子) 会期中の来館者数：5,577名(企画展347名、ミニ展示5,230名)

企画展「夏休み おばけの博物館」

会期：令和3年7月22日(木・祝)～8月22日(日)➡19日(木)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月20日(金)～9月30日(木)は臨時休館

本展は、宇品の夏休みの風物詩ともなっている郷土資料館「おばけの博物館」です。新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、以前の形態に近づけて実施しました。今回のテーマは「学習—妖怪と昔の生活—」です。4つのコーナーを設けました。

(1) 2階の企画展示室には、昔のおばけ屋敷を追体験できるような展示にしました。入口前には、「予習部屋」と称して、室内にいる妖怪たちのプロフィール、幽霊と妖怪の違い、お化け屋敷の始まりなどの説明パネルを用意しました。係員がパネル



芝居小屋風入口
手前は妖怪予習部屋

をもとに説明し、妖怪のことなどを事前学習したうえで、室内で待ち構える立体模型の妖怪たちとご対面できるようにしました。出入口の門は、昔の芝居小屋風のセットを作りました。この門をバックにした写真撮影は来館者に好評でした。今回登場の妖怪は、享和元年(1801)に五日市村(現佐伯区五日市)で発見されたという『雷獣』(『閑田次筆』より)です。原寸大立体模型を作製し、稲光・雷鳴の中で展示しました。



五日市の「雷獣」新登場!

江戸時代末期～明治時代にかけて描かれた、「怪異・妖怪画像」(国際日本文化研究センター・データベース)から、付喪神の面白い絵13枚と、基になった民具13点を展示しました。付喪神とはどのようなものか、民具を通して、子供たちにも知ってもらいました。

(3) 付喪神に親しみをもってもらうため、今年も付喪神作家の八木一文さんのフィギュアを、新作を含め16作品を2か所に分けて展示しました。付喪神はもちろん周りのセットや道具があまりにも小さく精巧にできていることに、みなさん驚いておられました。



付喪神の世界
妖怪の絵と基になった民具展示



中には何がいるんだ?
怖いけどみてみたい…

(4) 1階展示ロビーに妖怪と一緒に写真を撮れるコーナーを設置しました。外側の楽しい雰囲気に対して、中に入ると効果音と共に怖い雰囲気味わう仕掛けにしました。入口の幕を恐る恐るめくっていた子供たちの姿が印象的でした。

来館者の皆様にも、郷土資料館で夏の楽しい一日を過ごしていただきました。(河村直明)

会期中の来館者数：5,230名

【パネル展】「エスキーテニス 70年のあゆみ」

会期：令和3年4月1日（木）～5月5日（水・祝）

戦後に広島で考案され、広島で育った”平和のシンボルス
ポーツ”エスキーテニス。戦後、十分なスポーツ用具もなかつた時代、わずかなスペースと費用で、手軽に楽しめるエスキーテニスは、職場や学校等で大人気となり、次第に普及していきましました。昭和27年（1952）には、平和大通りに10面のコートが設置（現在は東区牛田新町に移設）され、多くの人に親しまれています。



展示説明を聞く来館者

パネル展では、日本エスキーテニス連盟と広島大学の熊原康博先生の協力を得て、「エスキーテニス」の始まりから現在までの70年間の写真展示、エスキーテニスの初期の用具展示、「発見！空から探すエスキーテニスコート」など様々な展示を行いました。広島の人々と広島発祥スポーツの関わりを紹介し、来館者のみなさんに、戦後の広島とスポーツについて関心を持っていただきました。



エスキーテニス体験会の様子

関連事業として、5月5日（水・祝）に日本エスキーテニス連盟の方々を指導していただき、GWお楽しみイベント「エスキーテニスをやってみよう」を行いました。あいにく



の雨天でしたので、会場を室内に変更し4回実施しました。（河村直明）

会期中の来館者：916名 5月5日（水・祝）体験会参加者：30名

被爆建物案内 令和3年8月6日（金）

被爆76年の8月6日（金）に、被爆建物である当館の建物（旧宇品陸軍糧秣支廠^{りょうまつしじょう} 缶詰工場）の歴史の説明などを行う「被爆建物案内」を行いました。

9：00～16：00の間、来館者に随時、①エントランスにある原爆の爆風で曲がった天井の鉄骨や資料を見ながら110年間の建物の解説、②講堂では、昭和7年（1932）に宇品港から出兵の様子と兵士を見送る広島市民の姿の記録映像の上映と解説、③夏休み中は戦時中バージョンに展示替えしている常設展示室の「昭和の茶の間と台所」を見ながら、戦時下の市民の暮らしについての説明を行いました。

多くの方に参加いただき戦争と平和を考える一日となりました。（河村直明）

参加者：257名



原爆の爆風で折れ曲がった天井の鉄骨を見上げる来館者

【パネル展】海図150年の歴史—瀬戸内海の手図—

会 期

■前期 令和3年10月1日(金)～10月24日(日) ■後期 10月26日(火)～11月23日(火・祝)
前期・後期で一部、展示の入れ替えをします

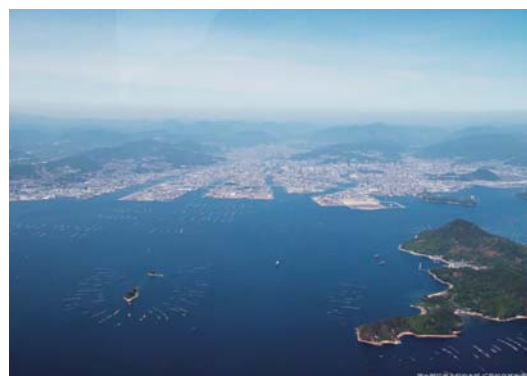
第六管区海上保安本部 海洋情報部

第六管区海上保安本部海洋情報部 吉山武史

みなさんは海上保安庁というと、「海の警察」や「海猿」などをイメージするかと思いますが、海の手図（海図）を作製していることをご存じでしたか？

陸の手図は？と聞かれると国土地理院やスマートフォンの手図を思い浮かべるとと思いますが、海の手図は知らなかったと言われることがあります。

明治政府は海運立国を国政の方針とし、国防的見地からも沿岸の測量や海図・手誌の刊行にいたる一連の水路業務を最も緊急の事業としました。

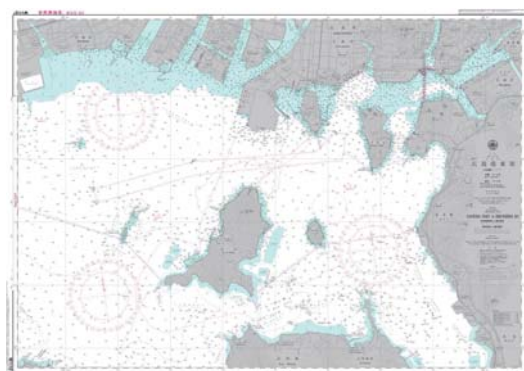


広島港

第六管区海上保安本部 広島航空基地撮影



明治37年(1904)の宇品港の様子
海上保安庁海洋情報部蔵



平成27年(2015)の広島港東部の様子
海上保安庁海洋情報部蔵

明治4年(1871)、政府はときの兵部省海軍部内に初めて水路局を設け、長崎の海軍伝習所において、勝海舟らとオランダ式航海術・測量術を学んだ、津(現三重県津市)の藩士・柳^{やなぎ} 檣^{ならよし}悦を起用し、測量から海図作成までを一貫して行う近代的水路測量を開始しました。

明治4年に近代的水路業務が開始され、令和3年(2021)で「150年」の節目の年を迎えることから、第六管区海上保安本部海洋情報部では今回、当部が所有する「明治時代の海図」、「戦時中の軍事機密の海図」、「現在の海図」の他、海上保安庁の航空機で撮影した港の写真などを織り交ぜ、港の変遷・今昔を海図で感じていただければと展示しました。

前期展示(10/24まで)では、明治13年(1880)に広島県令(現県知事)に就任した千田^{せんた}貞^{さだ}暁^{あき}によって築港された宇品港の様子について、明治37年(1904)刊行の海図で紹介、さらに昭和7年(1932)に港名が「宇品港」から「広島港」に変更し、現在に至るまでの、埋立てによる沿岸の変化なども海図で紹介

しています。この展示を通して来館された方々に、海図による海洋調査の重要性と海洋情報業務への理解を深めていただければと思います。



展示見学の様子

クイズラリー「クイズでたんけん！ in 郷土資料館」

令和3年7月31日(土)～8月15日(日)の土・日・祝 10:00～16:00

※なお、実施日は7月31日(日)、8月1日(日)の2日間

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

8月7日(土)～9日(月・振休) および14日(土)・15日(日)は中止



保護者と一緒に展示を見たり説明を読み
ヒントをもらいながら、
クイズに挑戦していました

今年で3年目となった夏恒例のクイズラリー。これまで
は常設展示室「昭和の茶の間再現展示」の夏の展示替え「戦
時中の茶の間」再現展示を中心としていましたが、今年は
新型コロナ対策を踏まえ、資料館1階全域に範囲を拡大し
ました。

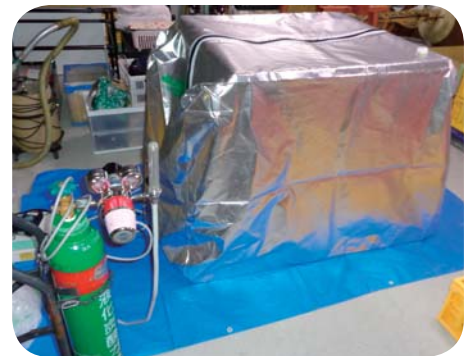
「戦時中の茶の間」や「宇品港」、「被爆鉄骨」など、時節
に合わせた広島町の歴史に関するクイズに加え、企画展
「夏休み おばけの博物館」の付喪神つくもがみと民具に関するものも交
えた全10問。広島町の歴史と戦争や平和について耳にし

たり意識する機会が増す時期ならではの内容が中心でしたが、クイズに関連した展示の説明パネル
を保護者と一緒に読み、一生懸命答えを探す子どもたちの姿が多くみられました。じつは大人でも
ちょっと難問も含まれていましたが、中には1人でクイズに果敢に挑戦する小学生の姿もあり、展
示をくまなく見て周りながらクイズラリーを思い思いに楽しんでいただけました。

クイズを解きながら館内展示を巡ったことを通して、子どもたちにはクイズを楽しみながら展示
を見て答えを探す達成感と時代に応じた人びとの暮らしの様子を新たに知るきっかけに、大人の方
には広島町の町が現在に至るまでたどってきた歴史をいつもより少し意識する機会となれば幸いです。
(川橋奈織) 参加者：429名

収蔵資料の虫害対策

郷土資料館では、今年度から収蔵庫・資料管理上の虫害対策
について見直しを行うこととしました。ここ十数年ほどは一年
に一回程度、収蔵庫内に殺虫・防虫剤を充満させて処理をして
いたのですが、人体への影響など安全性への懸念が拭い去れな
いこと、排気による環境負荷が大きいこと、また、短期的に収
蔵資料に悪影響が確認できないとしても、数十年、あるいはそ



殺虫処理の様子

れ以上後にどんな変化が起きるかよくわかっておらず、資料の保存上の不安もあることから、収蔵
庫全体に投薬することを取り止めることにしました。しかし、薬に頼らないということで、私たち
は虫害を起させない、すなわち「予防」という観点で様々な作業をこれまで以上に行わなくては
なりません。庫内を清潔に保つ、資料を日常的に点検し、異常を早期に発見するなどがあげられま
すが、一番重要なことは庫内に文化財害虫を持ち込まないということです。写真は密閉テント内に、
ここ数年いろいろなところから受け入れた資料を入れ、二酸化炭素を充満させた状態で殺虫処理し
ている状況です。薬剤処理に比べ、時間はかかります(2週間)が、はるかに安全性は高く、資料へ
の影響もほぼないと考えてよい方法です。(大室謙二)

博物館実習 令和3年7月31日(土)～8月7日(土)

今年度の博物館実習は、コロナの影響で実施が危ぶまれましたが、内容的に若干の変更は余儀なくされたものの、何とか予定どおりの日程で終わることができました。実習内容は、例年重点的に取り組んでもらっている「被爆建物案内」がやはり中心でしたが、そのほかに、博物館での事業の企画作り、襖の下張文書の取外し、その文書の補修(裏打ち)など、新たな内容や、しばらく行っていなかった実習も取り入れました。館の規模にしては多い人数を受入れたことで、職員もなかなかきめ細かい対応ができなかったのですが、どの学生もかなり意欲をもって主体的に考え、動いていたのが印象的でした。学校も年齢もいろいろでしたが、すぐにいい人間関係もできていたようで、これからつく職業の内容にかかわらず、いい財産を得たものと思います。(大室謙二)



博物館資料の梱包実習

実習生：県立広島大学、比治山大学、広島大学、広島市立大学、八洲学園大学 計7名

インターンシップ 令和3年8月

今年のインターンシップ実習も、コロナ禍で来館者との触れ合いも限られ、8月20日(金)から臨時休館となりましたが、博物館ならではの業務を最後まで体験していただきました。(前野やよい)

8月9日(月・祝)～14日(土) 5日間(10日は休館日) 1名

8月17日(火)～21日(土) 5日間 2名

8月24日(水)～28日(日) 5日間 2名 全て安田女子大学

活動報告 令和3年4月～9月

■教室・イベント事業



はにわ作り



ファイヤーバンド
ふれあいコンサート


日程	事業名	参加者数
4月17日(土)	教室 はにわ作り	28名
4月24日(土)	教室 勾玉作り	24名
5月3日(月・祝)	GW お楽しみイベント 「和柄の切り絵作り」	17名
5月4日(火・祝)		31名
5月5日(水・祝)	GW お楽しみイベント 「エスキーテニス」をやってみよう	30名
5月22日(土)	教室 藍でハンカチ染め	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
6月26日(土)	教室 折り染めのうちわ作り	
8月6日(金)	ｽﾊﾟｼﾞｱﾙｲﾊﾞﾝﾄ 郷土資料館被爆建物案内	257名
8月28日(土)	教室 藍染Tシャツ作り	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
9月18日(土)	教室 『ごんぎつね』おはなし会と工作「きつねのマジックカード」	
9月26日(日)	大人向け教室 大人の藍染Tシャツ作り	


■夏休みわくわくイベント（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月3日（火）以降中止）


日程	事業名	参加者数
7月28日（水）	カンタン工作「のぼるからくり忍者作り」	42名
7月29日（木）		42名
7月30日（金）		42名
7月25日（日）	ファイヤーバンドふれあいコンサート	18名
7月31日（土）	クイズでたんけん！ in 郷土資料館	119名
8月1日（日）		310名
8月7日（土）～9日（月・祝）・14日（土）・15日（日）		中止
8月3日（火）～5日（木）	カンタン工作「ストロー鉄棒人形作り」	中止
8月11日（水）～13日（金）	藍でマーブル模様のハンカチ染め体験	中止

■館外事業（カッコ内は主催者）

日程	事業名	参加者数
9月9日（木）	インバウンド事業道場第2回セミナー「『宮島広島名所図絵』から見る水の都広島」（広島観光CB）	13名







大人入館券200,000番

「夏休みおばけの博物館」開催中の7月31日（土）、南区にお住いの柳坪様ご一家が来館されました。大人の入館券番号がちょうど20万番でしたので記念写真を撮りました。開館以来、ご来館いただいた皆様ありがとうございました。

柳坪様ご一家
お父様が手にしておられるのが20万番の大人入館券

令和3年度 後期展示紹介

企画展 『ごんぎつね』が語る昔の暮らし
 令和3年9月4日（土）→10月1日（金）～11月23日（日）
 新美南吉の童話『ごんぎつね』のストーリーをまじえながら、童話に登場する昔の道具や人々の暮らしを紹介します。



企画展 似島と金輪島－軍用港を支えた二つの島－
 令和3年12月4日（土）～令和4年2月6日（日）
 戦前に陸軍の港として機能していた宇品港を支えた似島・金輪島の役割を紹介します。



昭和20年8月8日の似島（米軍撮影）／個人蔵

企画展 広島を語るいくつかの資料たち
 ー郷土資料館新収資料展ー
 令和4年2月19日（土）～3月27日（日）
 市民の方から寄贈いただいた近年の収集資料を中心に、それらが語る「広島」の歴史や伝統、暮らしなどの諸相を、小テーマを設けて紹介します。



銅器関連資料（当館蔵）

ひろしま郷土資料館だより No.102
 令和3年（2021）10月31日発行
 編集・発行 公益財団法人広島市文化財団 広島市郷土資料館
 〒734-0015 広島県広島市南区宇品御幸二丁目 6-20
 TEL:(082)253-6771 FAX:(082)253-6772
 URL: <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

